



2020年10月13日

各位

会社名 株式会社メディアドゥ  
代表者名 代表取締役社長 CEO 藤田 恭嗣  
(コード：3678、東証第一部)  
問合せ先 取締役 CAO 鈴木 克征  
(TEL. 03-6212-5113)

## 通期連結業績予想の上方修正並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月14日に公表いたしました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の通期連結業績予想並びに配当予想につきまして修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 2021年2月期通期 連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） (2020年4月14日公表)	77,000	2,200	2,000	1,100	77円60銭
今回修正予想（B）	85,000	2,800	2,800	1,500	102円77銭
増減額（B-A）	8,000	600	800	400	—
増減率（%）	10.4%	27.3%	40.0%	36.4%	—
（ご参考）前期実績 (2020年2月期)	65,860	1,853	1,761	884	64円58銭

#### (2) 修正の理由

当社グループの主力事業領域である電子書籍流通において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務や外出自粛に伴って可処分時間が増加し、いわゆる「巣ごもり消費」としての娯楽需要の増加傾向が継続しております。加えて、紙本から電子書籍への移行がより一層進展したことなどから電子書籍市場の拡大は当社想定を上回って推移しており、2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の通期連結売上高は当初予想を超過して進捗しております。また、来期以降のさらなる成長に向けて、新電子書籍取次システムにおける新機能追加開発やブロックチェーン技術を用いた新プラットフォーム開発、売上拡大に向けた広告宣伝の実施、エンジニアや管理系人材の採用強化に伴う費用の増加も見込むものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても当初予想を上回って着地することが想定されるため、上方修正を行うものです。なお、当社は本日付で「株式会社Nagisaの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」を公表しておりますが、当該買収に係る影響については本業績予想に織り込んでおります。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想		20.50	20.50
当期実績	0		
前期実績 (2020年2月期)	0	13.00	13.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の持続的な成長に必要な設備投資等や経営基盤の強化も重要な経営目標と考えております。そのため、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。

上記方針のもと、株主の皆様への利益還元については、配当及び自社株式の取得による総還元性向（注）20%以上を念頭に置き、配当と自己株式の取得の配分は、株価水準等に応じて判断致します。

これらを踏まえ、2021年2月期の期末配当につきましては、当期の業績及び今後の経営環境、将来のための成長投資等を総合的に判断し、1株当たり20円50銭（配当金総額299百万円）とさせていただく予定です。

（注）総還元性向＝（配当支払総額＋自己株式取得総額）／親会社株主に帰属する当期純利益

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上